



## 第 30 回日本 TDM 学会・学術大会

開催のご案内

寄付金趣意書

会期：2013 年 5 月 25（土）、26 日（日）

会場：市民会館崇城大学ホール・熊本市国際交流会館



## ご挨拶

謹啓

時下益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より日本TDM学会の活動にご高配を賜り厚く御礼申し上げます。私どもは、2013年5月25（土）、26日（日）に市民会館崇城大学ホール・国際交流会館（熊本市）を会場として、第30回日本TDM学会・学術大会をお世話させていただくことになりました。

TDM（治療薬物モニタリング）とは、治療効果や副作用に関する因子をモニタリングしながらそれぞれの患者に個別化した薬物投与を行うこと。血中濃度と治療効果や副作用との間に関係が認められる薬物では、血中濃度を測定し、解析した結果と臨床所見から投与計画を行うことです。近年、より幅広い薬物適正使用のため、治療効果と関連するバイオマーカーの測定も含め、治療薬物マネジメントという解釈も出はじめております。おかげさまで、1984年に始まったTDM学会は2013年で30周年という節目を迎えます。そこで本大会のテーマを「TDM・新たなる挑戦～30th Anniversary in Kumamoto～」といたしました。より進歩した個別化薬物投与設計に挑むことはもちろん、この大会に初めて参加して、新たにTDM業務にチャレンジする、TDM経験者がより幅広いTDMの実践に向けて挑戦する、新たに承認されたTDM対象薬のTDM実施に挑戦する、TDMに関する最新の情報を生かして新たな臨床研究に挑戦するなど、この学会を通して「新たなる挑戦」を呼びかけたいと思います。

特別講演、招聘講演、理事長講演、4つのシンポジウム（①腎機能低下時のTDM、②30周年企画・今後のTDMの方向性～PK-PD-PGx, Pharmacometrics～、③抗菌薬のTDMガイドラインの検証、④薬物中毒とTDM）を用意します。また新たな企画として、12の教育セミナーおよびTDM解析体験セミナーを用意し、活発な討論を通じて、より良いTDM、より良い個別化薬物療法が発展することによって科学的な薬物療法が推進され、TDM対象薬だけでなく、それらを取り巻く幅広い「有効かつ安全な薬物療法」にも貢献できるものと考えます。現在、私どもは鋭意、30周年大会の開催準備を進めておりますが、当初の目的を達成するためには、多額の経費を必要とします。企業を取り巻く環境が依然厳しいものであることを十分に認識し、経費の節約に極力努める所存ではありますが、諸事情ご賢察の上、30周年大会の趣旨にご賛同いただき、寄付のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

つきましては、本学術講演会の主旨をご理解いただき、出費多端な折から大変恐縮に存じますが、各位のご支援ご援助を賜りたくお願い申し上げます。諸般の事情をご賢察の上、何卒よろしく申し上げます。

謹白

平成24年9月吉日

第30回日本TDM学会・学術大会  
会長 平田 純生  
(熊本大学薬学部 教授)



# 開催概要

1. 学会名 第30回日本TDM学会・学術大会
2. 会期 2013年5月25日(土)・26日(日)の2日間
3. テーマ 「TDM・新たなる挑戦～30th Anniversary in Kumamoto～」
4. 会場 市民会館崇城大学ホール・熊本市国際交流会館
5. 大会長 平田 純生 (熊本大学薬学部附属育葉フロンティアセンター・臨床薬理学分野)
6. 予定参加者 約1000名(予定)

## 7. 寄附金を必要とする理由

本学会において、TDM(治療薬物モニタリング)研究に携わる研究者約1000名の参加が予想され、開催に関する費用は約**2,004万円**と推算されます。これらの諸経費は、本来参加費、その他の自己資金で賄われるべきものでありますが、個人の負担には限界があり、収支予算書にもありますように、約**100万円**を各界の皆様のご賛助に頼らなければならぬ実情がございます。

## 8. 収支予算書

【収入の部】					【支出の部】				
収入区分	内容		合計	備考	支出区分	内容		合計	備考
<b>I. 登録料</b>					<b>I. 学会運営費</b>				
	事前申込					機材(レンタル等)費・オペレーター人件費		3,500,000	
	会員・非会員	7,000 × 450名	3,150,000			施工(看板・サイン等)関係費		2,000,000	
	学生	2,000 × 100名	200,000			当日運営(ディレクター)人件費		1,500,000	
	当日申込					その他・事務局費/企画費		2,000,000	
	会員・非会員	9,000 × 350名	3,150,000						
	学生	3,000 × 100名	300,000						
	懇親会参加費	6,000 × 200名	1,200,000	1,000名規模					
	登録料計		<b>8,000,000</b>			学会運営費計		<b>9,000,000</b>	
<b>II. 広告・展示収入</b>					<b>II. 印刷費</b>				
	広告 1頁(表3・4)	120,000 × 2社	240,000			印刷(抄録集)		1,000,000	
	1頁(後付)	80,000 × 5社	400,000			印刷(その他・チラシ・ポスター・封筒等)		500,000	
	1/2頁(後付)	50,000 × 4社	200,000						
	展示	100,000 × 20社	2,000,000						
	広告・展示収入		<b>2,840,000</b>			印刷費計		<b>1,500,000</b>	
<b>III. 補助金</b>					<b>III. 会場費</b>				
	一般会計(積立)		-			会場経費		2,000,000	
	自治体助成金		-			会場費計		<b>2,000,000</b>	
	補助金計		<b>0</b>						
<b>IV. 寄付金</b>					<b>IV. その他</b>				
	寄付金計		<b>1,000,000</b>			宿泊・交通費		-	
<b>V. 諸収入</b>						懇親会関係費		1,200,000	
	ランチョン共催金-1	600,000 × 2社	1,200,000			講師招聘費		4,500,000	
	ランチョン共催金-2	500,000 × 4社	2,000,000			事前準備費		1,000,000	
	教育セミナー	500,000 × 10社	5,000,000			予備費		840,000	
	諸収入計		<b>8,200,000</b>			その他計		<b>7,540,000</b>	
<b>収入合計</b>					<b>直接経費 支出小計(B)</b>				
			<b>20,040,000</b>					<b>9,540,000</b>	
<b>総支出合計(A)+(B)</b>					<b>20,040,000</b>				



1. 学会名：第30回日本TDM学会・学術大会
2. 募金目標額：1,000,000円
3. 募金依頼先：製薬関連企業、医療機器関連企業、医療用食品関連企業、その他企業等
4. 募集期間：2012年10月1日（月）～2013年2月28日（木）まで
5. お振込方法：寄付申込書を送付後、学会口座へお振込下さい。
5. 寄付申込先：  
第30回日本TDM学会・学術大会 運営事務局  
株式会社JTB ビジネスサポート九州 ICS 営業部内  
〒810-0072 福岡市中央区長浜1-1-35 新KBCビル6F 担当：浦  
TEL: 092-751-3244 FAX: 092-751-3250  
E-mail: [TDM30@kys.jtb.jp](mailto:TDM30@kys.jtb.jp)
6. 寄付金振込先：  
肥後銀行 味噌天神支店 店番号 157  
(ダイサンジュッカイニホンティーディーエムガツカイダイヒョウ ヒラタ スミオ)  
口座番号：1515248 (普通預金)

FAX送信先： 092-751-3250

## 寄付申込書

第30回日本TDM学会・学術大会  
会長 平田 純生 殿

第30回日本TDM学会・学術大会の目的、事業に賛同し、その運営基金として  
下記の金額を寄付します。

平成 年 月 日

<個人の場合> 氏名：

.....

<法人の場合> 法人名：

.....

代表者：

.....

担当者：

.....

住所：〒

.....

電話：

FAX：

.....

### 記

金額 円

払込方法	一括払い	H	年	月	日
	分割払い 第1回	H	年	月	日
	第2回	H	年	月	日

寄付金振込先：

肥後銀行 味噌天神支店 店番号 157

(ダイサンジュッカイニホンティーディーエムガツカイダイヒョウ ヒラタ スミオ)

口座番号：1515248 (普通預金)